

教宣 せぶん

あたたかいメッセージ

「私たち女性のつどいメンバーも皆さんと一緒に勝つまで頑張ります！一緒に頑張りましょう！」というあたたかいメッセージが入ったバレンタインチョコをいただきました。このチョコは、首都圏メンバーには2月14日のポスティングピラの日に、地方組には金融3 争議総行動参加のために上京した際に全員に渡されました。女性のつどいの皆さんからは、毎年行うバザーの売上金の一部を私たちのたたかいへカンパいただいていますし、手渡し&ポスティングピラをはじめ宣伝行動や裁判所への要請ハガキなどにも、惜しみない協力をいただいています。

20日の金融3 争議総行動終了後の懇親会で、この日の行動に休暇を取って参加いただき、トン汁の手配などを手伝ってくれた女性のつどいのメンバーの方と話しをする機会がありました。「組合の行動や行事に参加すると元気がもらえる」という「一人職場」ならではの共通の思いを話しました。同業他社の従業員同士、こうした交流がはかれるのは産別労働組合の全損保だからこそですが、小さな組合に追いやられても、そこに「運動」や「たたかい」がある限り、組合員同士のつながりや、人と人とのつながりは確かなものになっていきます。もしかしたら、小さな組合に追いやられたからこそ、理解できる「痛み」や「寂しさ」を共有しているからなのかもしれません。

女性のつどいのメンバーは第2・第4週の首都圏で行われるポスティングピラに毎回参加してくれているそうです。地方組にはなかなか見えないことですが、いただいたメッセージに書かれている通り、間違いなく私たちのたたかいを自分たちのたたかいでもありと考えてくれています。

仲間のあたたかいご支援を受けて、私たちはこのたたかいをすすめています。勝利の日まで徹底的にたたかきましょう。